

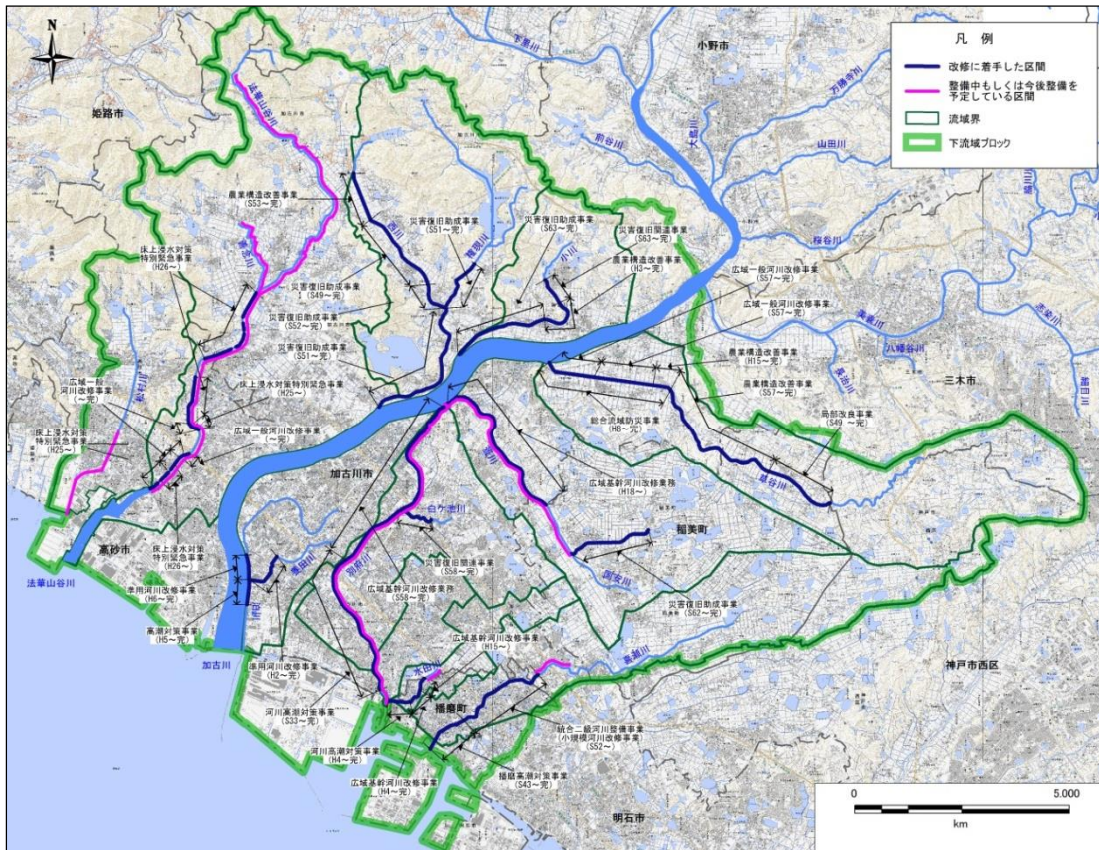
加古川流域圏（下流域ブロック）総合治水推進計画の概要

- ◇ 計画対象地域
加古川、喜瀬川、泊川、法華山谷川水系 約 200k m²（流域全体約 1900 k m²）
（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）
- ◇ 計画期間
平成 26 年度から 10 年間
- ◇ 基本目標（要旨）
 - 河川・下水道対策の着実な実施
 - 浸水が頻発している地域を中心に、地域に応じた流域対策の実施
 - 人的被害の回避、県民生活や社会経済活動へのダメージの回避・軽減

1. 河川下水道対策

凡例：◆主な取り組み

下流市街地の低地部等において、豪雨時の自然排水が困難となり浸水が発生していることから、河川の流下能力向上や下水道の排水機能改善を着実に実施し、浸水軽減を目指す。



平成 16 年 10 月 台風第 23 号



平成 23 年 9 月 台風第 12 号

■：浸水実績

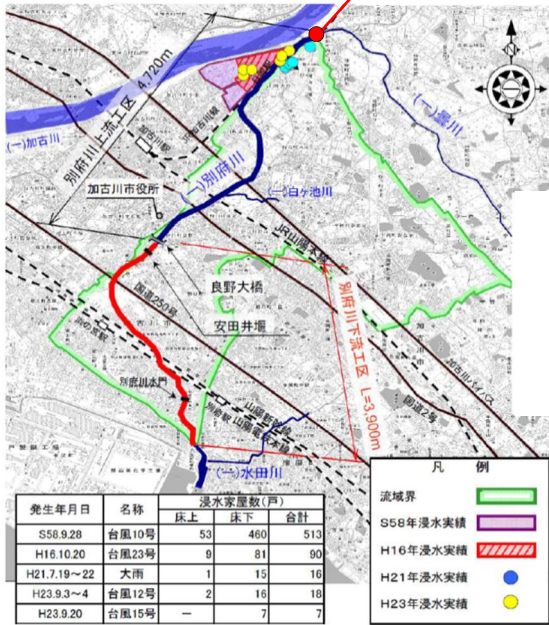
(1) 河川対策 〈県・市〉

○河川整備計画、社会基盤整備プログラム等に基づいた整備の実施

県：別府川、曇川排水機場、水田川、草谷川、喜瀬川、法華山谷川
高砂市：松村川

◆別府川の整備（上流継続＋下流 H27 新規）

◆曇川排水機場（H27 完）

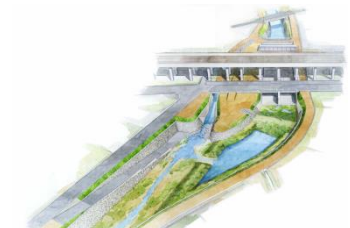


◆水田川の整備

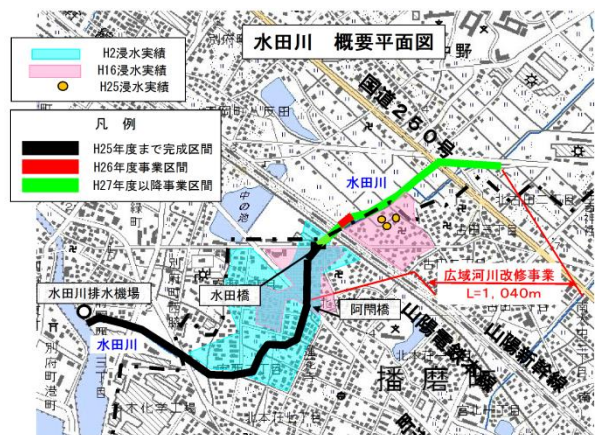
<加古郡播磨町北本荘地内>



改修後の状況



新幹線・山陽電鉄横断面所完成予想図



◆法華山谷川流域の整備（平成 25 年 3 月策定）

平成 29 年までに、平成 23 年台風第 12 号時の床上浸水個数 424 戸を概ね解消

県：法華山谷川（L=13.3km）、善念川（L=1.3km）の整備

加古川市、高砂市：間の川の整備

県の河川対策の概要

河川	県の区間	延長	主な整備内容
法華山谷川	高砂市荒井町千鳥～加古川市志方町畑	約 13.3 km	築堤・引堤・河床掘削・橋梁・井堰の改修
善念川	法華山谷川合流点～加古川市志方町原	約 1.3 km	

市の河川対策の概要

河川	市	対策内容
間の川	加古川市	流路改修、橋梁改築
	高砂市	ポンプ増強、樋門増設、流路改修、橋梁改築



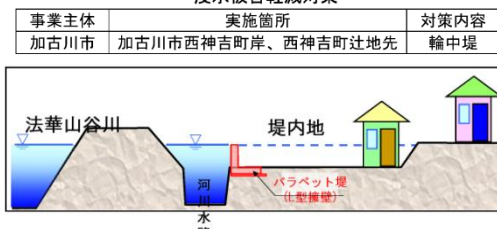
平成 23 年出水状況



法華山谷川施工状況

輪中堤（イメージ図）

浸水被害軽減対策



水田貯留の取り組み（富木営農組合）

(2) 下水道対策 〈加古川市、高砂市、稲美町、播磨町〉

○下水道の計画に基づいた整備の実施

加古川流域関連公共下水道等

○浸水箇所での優先的な取り組み

短期対策として、雨水排水路の嵩上げや雨水管渠への流入部の改善により流れをスムーズにすること等を検討



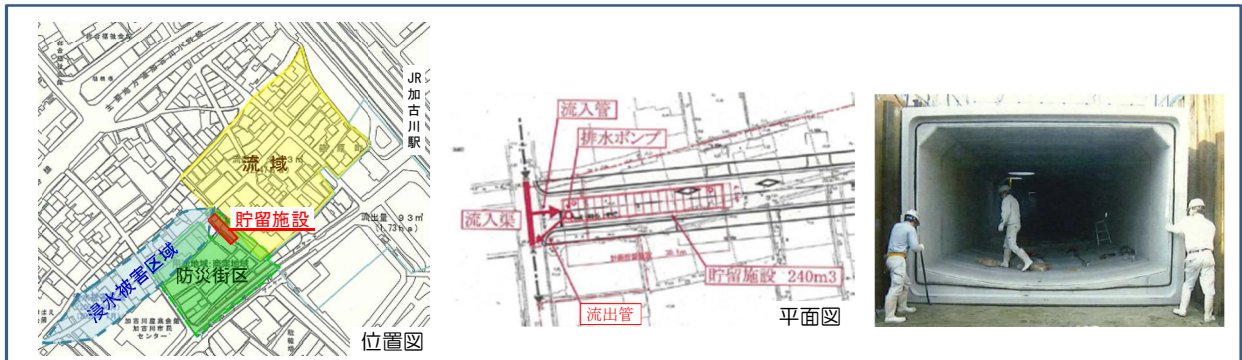
排水路の嵩上げ



◆加古川分区貯留槽設置工事

(寺家町周辺地区防災街区整備事業)

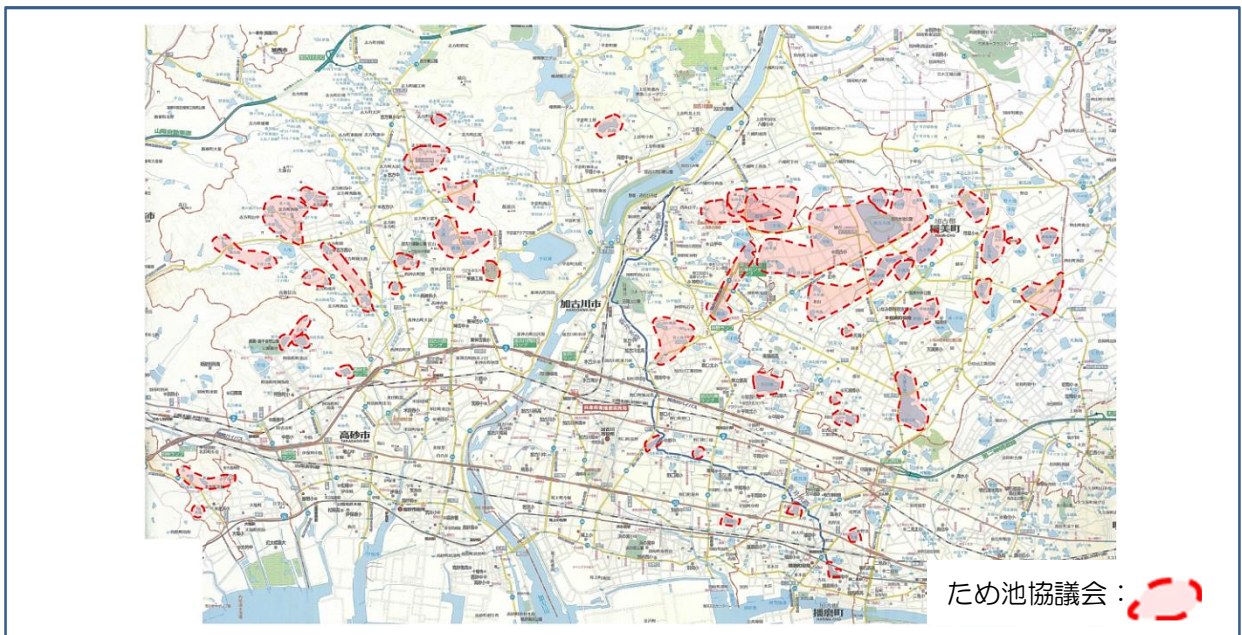
下水管渠の負担軽減、浸水被害軽減のため、道路下に貯留槽を設置



2. 流域対策 〈県・市町・県民〉

東播磨地域では、すでにため池の事前放流や水田貯留が行われているが、下流域ブロックの上流部には、多くのため池や水田があることから、流出抑制による内水氾濫等の軽減効果がさらに発揮されるよう、ため池協議会や農地・水・環境保全に取り組む組織^{*}等を中心に、ため池の事前放流や水田貯留等の普及啓発を進める。

^{*}多面的機能支払交付金の交付対象組織



◆**ため池の事前放流**

- 加古川市の蓮池（H26.8.10 台風第 11 号時の事前放流水深 10 cm）（富木営農組合）
- 稲美町（洪水吐切欠き：加古大池、溝ヶ沢池等、緊急放流ゲート：満溜池、長府池等）

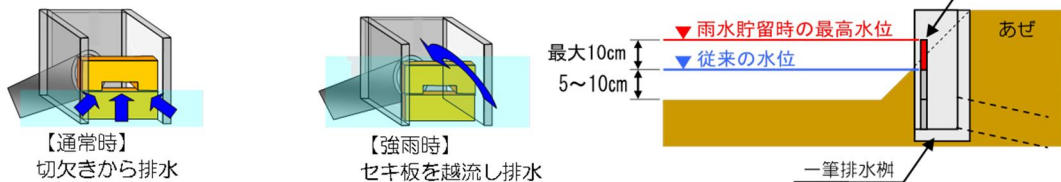


◆**水田貯留**

- 「せき板 1000 枚配布大作戦」（H26 実績）
- 稲美町：約 800 枚（天満大池土地改良区）
 - 加古川市：約 1200 枚
- 配布、普及啓発に合わせて、アンケート調査等により課題や効果の把握に努める。



田んぼせき板（イメージ図）



- ◆学校・公園・その他大規模施設など：先行的に、県立高校において校庭貯留（雨水貯留浸透対策）を実施する。（県立農業高校〔H27 年度～〕）

3. 減災対策 〈県・市町・県民〉

あらゆる機会を捉え、減災知識の普及に取り組むことにより、県民の防災意識向上を図る。

(1) 防災力の向上

- ◆ 東播磨地域の取り組みとして、「ジュニア防災スクール」等体験型の講座を開催することにより、防災活動全般にわたり県民の活動を支援する。
 ・「ジュニア防災スクール」：〈対象〉小学生 〈内容〉防災教室、避難所体験、非常食試食等

- ◆ 学校カリキュラムと連携し、総合治水の効果のわかる模型を製作し、その模型を地域への普及啓発に活用する。（県立東播工業高校、農業高校）
- ◆ ため池管理講習会やため池クリーンキャンペーン等の機会を活用し、総合治水の普及啓発を行う。

(2) 情報発信の充実

現在、河川水位や雨量観測情報、CGハザードマップや兵庫防災ネット等を用いて情報発信に取り組んでいる。

- ◆ 東播磨地域では「BAN-BANテレビ」の【道路チャンネル】にて、24 時間地域密着の道路情報・河川情報を放送している。（35 箇所のカメラ映像を配信、うち河川関係 25 箇所）

今後も、新たな情報を提供できるよう、取り組む。



模型を用いた啓発（西宮市大社小学校）



「BAN-BAN」テレビ番組案内